

# HSK

なんれん **と か ち**

NO. 30

昭和48年1月13日  
第三種郵便物認可  
HSK通巻第 331 号  
1999年11月10日発行  
毎月10日発行 (一部100円)  
(会費・協年会費に含まれています)  
編集 (財)北海道難病連十勝支部  
発行 北海道身体障害者団体  
定期刊行物協会 (HSK)

## 第26回全道集会参加報告

十勝に患者会のない患者・家族の交流会  
合同レク・インくったり温泉



くったり温泉トムラ登山学校レイク・インにて 撮影

(財)北海道難病連十勝支部

## 第26回 難病連全道集会の報告

第26回 難病患者・障害者と家族の全道集会は、7月31日・1日の両日、札幌市に於いて開催されました。全道900名を越える参加者で、盛大に開催されました。この内容は、後日、本部から報告があると思います。

十勝支部からは、今年の参加者は当初の予定より少なくなって、16名でした。例年のように、市の福祉バスをお願いして、早朝8時半に総合福祉センターを出発しました。途中ドライブインで2回ほど休憩しながら、札幌市に到着したのは16時ころでした予想したより早く到着し、全員体調も良くて一同安心しました。

第1日は、部会が開かれました。1部は第2日目の午前に開かれました。2日目の12時40分から全体会が始まりました。アトラクション、基調報告、挨拶があり、集会アツピール採択がありました。

今回のメインは、日本一周マラソンの出発式が行われました。沢本さんが元気に登場しました。これから11月まで全国を一周するのは大変なことですが、がんばってほしいと思います



### ランナー澤本 和雄さんのプロフィール

1946年北海道富良野市生まれ。70年～92年岩橋印刷(株)にグラフィックデザイナーとして勤務、92年(有)澤本デザイン事務所設立  
北海道難病連のポスターやパンフレットの作成を手がけて20年になる。  
マラソンは30歳から走り始め、現在まで51回マラソン大会に出場、全て完走。  
その他各種のマラソン大会に出場し完走。

報告 難病連十勝支部  
支部長 山崎 富士夫

## 第 26 回難病患者・障害者と家族の全道集会

7月31日・8月1日かでの2・7ホールにて開催されました

報告 あすなろ会・成田 愛子

十勝支部からは、帯広市の福祉バスこまどり号で患者・家族 16 名が参加致しました。

分科会は 31 日・1 日と医療講演会、交流会と各部会ごとに開かれました。私はあすなろ会で参加し、保健婦さんを囲んでの交流会、とても相談しやすい先生でした。

今回の全道集会でのアトラクション、YOSAKOI チーム「動夢舞」それはとても素晴らしく、感動！・感激！。

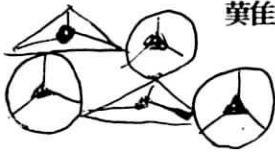


設立時は約半数の参加者が肢体に障害を有していた事から「動く事にハンディはあっても夢を待って舞おう」。「大丈夫（ドンマイ）我々にも出来るのだ」と思いを込めてチーム名を「動夢舞」と決めました。

「かめチーム」「うさぎチーム」「つるチーム」で作られて、3 チームが共に踊ることによって動舞夢の踊りが作られています。

昨年からは、知的障害者や難病の仲間を加え 137 名、今年は 117 名が YOSAKOI ソーラン祭りの本祭りに参加しています。

皆様、ありがとうございました。



## 難連全道集會に参加して

リュウマチ友の会十勝分会 前田 弘子

8月1日、難病患者、障害者と家族の全道集會に、主人と子供2人と一緒に参加しました。私たちは、昨年につづき2回目の参加になりますが、札幌の集會は初めてでした。

分科会では、リュウマチ患者の悩みを勤医協中央病院の田村先生が、分かり易く答えてくれました。薬のこと、手術のこと、介護保険のこと、いろいろな質問がありました。

私は、シェーグレンのことについて聞きましたが、リュウマチの4人に1人ぐらいはなるそうです。シェーグレンだけでも、北海道は特定疾患であるとのことで、少し怖い気がしました。よく言われる口が渇く、涙が出ずらいなどの他、喉の奥にタンがあるようだったり、ろれつか回らない、皮膚がカサカサするなど、いろいろな症状があることがわかりました。

今年は、「がんばれ難病患者日本一周激励マラソン」ということで、沢本和雄さんが6122キロを11月29日のゴール目指し、走られています。今もどこかで頑張っているのだと思うと、素晴らしい事だと思います。

何も出来ませんが成功をお祈りしています。

今回は、難連のバスに乗らせてもらいました。初めて会う方が多かったのですが、みなさん明るくやさしく、とても楽しいバスの中でした。我家には、4才と7才の腕白な子供がいます。母が病気で十分なことをしてやれない時もあります。病気であることで悲しい事もありますが、2人の子供に励まされ毎日過ごしています。いつも一緒に参加してくれる主人には感謝しています。

リュウマチも10人に1人は悪くなり、10人に7人は良くなったり悪くなったり、それでも日常生活は出来るぐらい。10人に1~2人は自然と良くなると、先生がおっしゃっていました。悲しいことばかり考えず希望をもって過ごしたいと思います。

今年も全道集會でマラソンを応援し、たくさんの人に出会い、家族4人素晴らしい思い出が出来ました。参加させていただき有難うございました。みなさんも辛い日が多い毎日と思いますが、どうか穏やかな日々であります様に。そして、安心して暮らせる社会と医療の充実を願います。



## 合同レクくったり温泉の旅を終えて

9月25日第7回合同レクリエーションは、会員・家族・ボランティアの皆さん総数26人の参加で、トムラ登山学校レイク・インの温泉で楽しい1日を過ごしました。

### 参加者皆様のコメント



新岡 恵美子

役員の方ボランティアの方大変お世話になりました。

あまり外に出る機会が少ないので、この度は思い切って参加でき、この位の時間は大丈夫と自信ができました。多くの方々がいろいろな病気と闘いながら生きていられるのを目のあたりにして、病気には負けてはいられないと勇気が湧いてきました。意義深い一日をを過ごすことが出来、生かされていることが如何に素晴らしいことかを感じることも出来ました。又このような企画がありましたら、参加したいと思っています。誠に有難う御座いました。

竹中 美津子

台風の心配をしておりましたがお天気になり気持ち良く帯広を後にして、初めて行く所屈足登山学校 嬉しさいっぱいです。

ボランティアの皆さんにお世話になり主人はお任せ、私はとても気楽です、お天気も良し、昼食料理も良し、気分も良し、ホテルも綺麗でとてもルンルン気分で過ごし、これもボランティアさんのお陰です、そして難病連様ありがとうございました。

伊藤 富美

久しぶりの合同レクリエーション喜んで参加させてもらいました。



今年の夏は暑さのために体調も悪くやっと生活している状態でした。

今日は、温泉でゆっくりくつろぎ、皆さんの病状を聞き何とかホットした気持ちです、元気を出して頑張ります。いろいろお世話になりました。

河合 恵美子

厳しかった夏も何時しか過ぎ去り冬の訪れを感じるようになって来ました。先般はお世話になりました。

屈足登山学校に出かけた頃は豆の山がありました、又可愛い小型のひまわりが咲き、又菜の花が黄色一面でしたネ

月日の立つのは早いものもう十一月です。

それぞれ病気に悩む仲間と友にし昼食・ゲーム・自己紹介とご自分の発病の頃の様子や痛みと闘った毎日、治療に専念した経過や、現在の生活の様子など聞く事ができ、改めりハビリ訓練に頑張る根性がわきました。

友の会会員さんは障害を抱えながらではありますが、元気の輪であることを念じ、又一人でも多くの方と語り合えます事を喜びとしております。



お礼の手紙より

ご馳走様でした

竹中 晟浩

九月二十五日 トカラ登山学校にて

難病連そしてボラン  
ティアの皆様ありがとうございました。

エネルギーを蓄え、  
ストレスを解消して、綺麗な空気いっぱい吸って、  
明日があるから、明日に向かってがんばります。

難病の  
苦しさ忘れ  
バスのたび



中山 真由美

料理とても美味しくいただきました。ゲームも楽しく遊ばせてもらい、楽しい1日を過ごせたことを感謝しております。本当に有難うございました。

## 第10回十勝に患者会のない患者・家族交流会を実施

7月20日十勝プラザにて午後1時から3時まで講師に帯広保健所係長の加納朗氏をお迎えし、患者・家族・役員等17名が集り、病気についての悩み、質問などそれぞれの立場で話し合いました。

白石 道子

交流会に子供の代わりとして参加してみました。  
色々な病気があり皆さん病気に負けないで、頑張っているのが驚きました。  
保健所の方の説明、病気の事、薬の事等沢山のお話ができ、勉強になりました。  
帰ってきてから子供に話しました。  
出来ればこれからも色々な行事に参加していきたいと思っています。  
これからもよろしくお願いします。

## 勤医協の健康祭りに参加

昨年までは、医療機器展示で参加していましたが、今年からはリサイクルバザーで参加しました。

9月19日天候にも恵まれ、大勢の皆さんが無料健康診断・体力測定・介護保険についての講演・模擬店など多数のイベントで、1日中賑わいを見せておりました。

十勝支部は勝毎新聞でご家庭で眠っている不要品の寄付をお願いした所、沢山の品物をいただき、其の内の一部を今回のリサイクルバザーで販売致しました。

参加者は：山崎・成田・竹内・大野・工藤・加藤（富）・加藤（健）  
ご苦労様でした。  
販売金額は経費を引いて、純利益 20,050円でした。

## JPC街頭署名・募金活動を実施

10月16日藤丸ふれあい広場にて10時から開始、あいにく風が強く寒い日で、署名して下さった方々も紙を押さえながら風との苦闘でした。

署名数は87筆 募金は1,200円でした。  
参加者は：山崎・成田・山根・加藤（富）、家族・加藤（健）  
ご苦労様でした。  
署名・募金にご協力して下さいました皆様有難う御座いました。

## 第23回 特定疾患患者家族交流会に参加して

9月7日帯広保健所池田支所、特定疾患家族患者交流会が浦幌町保健福祉センターで開催されました。

本日の講師、帯広協立病院理学療法士・森茂樹先生「生活に活かせるリハビリテーション」の講演から始まり、その内容については、次のように話されました。

- ◎リハビリは頑張れる人と、頑張れない人がいる
- ◎リハビリは出来る事をやれば良い
- ◎リハビリで無茶をする事は禁物、痛みが残るまではしないこと、自分なりのコツを覚える
- ◎夢中になること、リラックスする事を探すこと、毎日の生活に張りがあること、楽しみがあること
- ◎生活を生き生きと過ごすことが、心も身体も健康にする秘訣であり、それは一寸したきっかけで広がる事もあります。

お話の後室内ゲームを2チームに分けて、ボール蹴り、フーセンバレーを行いました、皆さん真剣にゲームに取り組んでいました。

休憩をはさみ懇談会になりました、お茶を飲みながら療法士の森茂樹先生、保健婦さんに日頃の生活や病気についての相談になりました。

患者さんの質問・意見から……………

※腰が曲がってきたが日中少しでも出来る運動で持続できるような体操は無いだろうか

※薬は自分で調節しても良いだろうか

※パークゴルフをやりながら、術後のリハビリをしています

前向きに療養生活を送れるよう、努力している患者・家族の皆さんにお会いし励まされました。

十勝支部から加藤（健）・竹内が参加させていただきました。

報告 心臓病部会 竹内 淑子

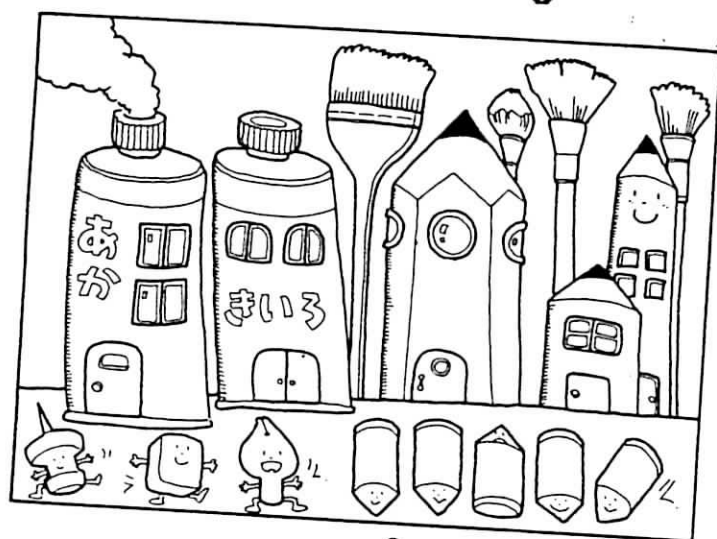
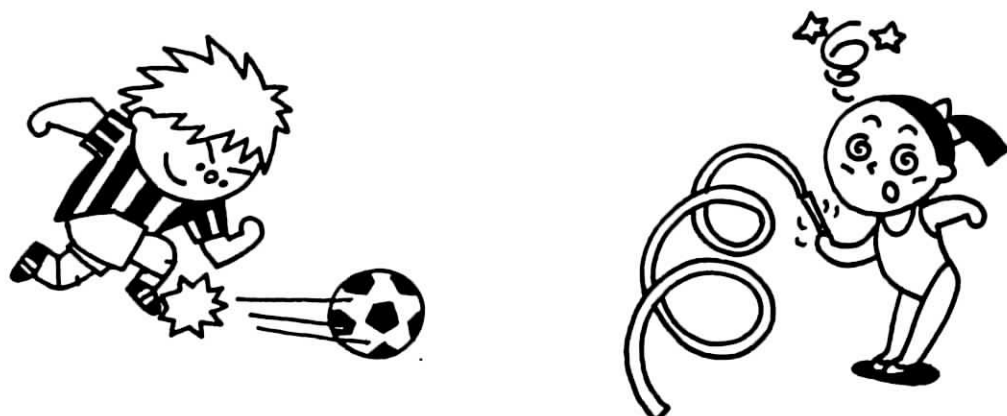


## 第24回患者・家族交流会の報告 山根 静子

第24回患者・家族交流会は、10月13日・池田町保健センターにおいて開催されました。十勝支部からは、山崎富士夫・加藤登美子・山根静子の3名が参加しました。帯広保健所池田支所の主催で、最初に支所長の挨拶があり、引き続き講演会に入りました。

講演会は、協立病院リハビリテーション科長の森茂樹氏が講師でしたが、あまり固くならず和気あいあいと進行しました。

その後、風船バレー、食べ物合わせ、歌合わせとゲームを楽しみました。休憩をはさんで、懇談会が行われましたが、リュウマチ部会の加藤登美子さんの積極的な生活上昇思考や、友の会との交流等が共感を呼んでいました。尚、私共のパーキンソン病部会は、各種行事開催、会報発行等、積極的に交流をはかっていることをお話しました。山崎支部長も難病連十勝支部の立場として、各種行事開催等の時は支援できることをお伝えし、交流会懇談会共に有意義に終わりました。



## 1999年度 地域部会役員組織

部 会 名	代 表 者	事 務 局	電 話
パーキンソン病友の会	板 谷 弘	山 根 静 子	
会 員 数 など	住		所
50名 協賛会員4名			

部 会 名	代 表 者	事 務 局	電 話
道腎協 十勝地方腎友会	小 椋 勇 三	小笠原 和 枝	
会 員 数 など	住		所
313名			

部 会 名	代 表 者	事 務 局	電 話
あすなる会(個人参加難病患者の会)	成 田 愛 子	深 沢 幸 子	
会 員 数 など	住		所
180名			

部 会 名	代 表 者	事 務 局	電 話
膠原病友の会帯広地区	家 内 千 枝 子	北 風 喜 美 江	
会 員 数 など	住		所
23名			

部 会 名	代 表 者	事 務 局	電 話
全国心臓病の子供を守る会帯広ブロック	中 山 貴 洋	野 口 勝 子	
会 員 数 など	住		所
17名			

部 会 名	代 表 者	事 務 局	電 話
北海道小鳩会帯広分会	斉 藤 サヨ子	丹 羽 厚 子	
会 員 数 など	住 所		
51名			

部 会 名	代 表 者	事 務 局	電 話
リウマチ友の会北海道支部 十勝連絡会	田 中 弘 子	間 野 美 保	
会 員 数 など	住 所		
44名 協賛会員1名			

部 会 名	代 表 者	事 務 局	電 話
北海道後縦靱帯骨化症友 の会帯広支部	坂 口 貫 一	吉 沢 一 廣	
会 員 数 11名	住 所		

部 会 名	代 表 者	事 務 局	電 話
北海道肝炎友の会帯広支部	江 口 美生男	島 良 之	
会 員 数 など	住 所		
150名			

部 会 名	代 表 者	事 務 局	電 話
二分脊椎児(者)を守る 会帯広地区	加 藤 十三雄	加 藤 富 江	
会 員 数 など	住 所		
7名			

## 各 部 会 の か ら の 報 告 ・ 案 内

### 北海道ALS友の会十勝地区交流会を開催して

北海道ALS友の会事務局長

三浦 迪子

去る9月11日(土)の北海道ALS友の会十勝地区交流会につきましては、北海道難病連十勝支部様のお力を頂き、無事終了する事ができ深く感謝申し上げます。

前日、山崎支部長様のご案内で、帯広保健所、市役所等へお伺いし、ALS患者のおかれている状況、今後の対応のお願いなどをお聞き頂きました。また、帯広の様子をお伺い致しました。このように、関係の皆さんにお目にかかる事は、大変意義がある事と思います。

これまでの医学の方向では、ALSと診断された場合、原因不明、治療法無し、難病中の難病ゆえ、殆ど本人には告知はしないという病いでした。厚生省ではこのALS(筋萎縮性側索硬化症)は特定疾患として扱います。各保健所で手続きをしますから、患者への対応などは保健婦さんが派遣されて行われます。その地区の状況は保健所でしか、患者数を含め把握している所はありません。上記の理由で本人に告知されていないのが前提ですから、我々友の会にも具体的に患者さんを紹介して頂く事は出来ません。教えて頂けるのは患者数のみで、それ以上の事は教えて頂けないのです。

市役所では、患者が在宅療養に入った場合、福祉関係で在宅サービスを行って頂きます。しかし、ALS患者が在宅療養に入る場合、一通りの在宅サービスでは到底間に合うものではありません。告知をされていない場合は殆ど不可能でしょう。

しかし、最近人工呼吸器装着が保険の点数で認められ、効能はあまり認められないといえリルゾールというALSにとっては画期的な新薬の認可等、状況がどんどん変化してきて、告知をしない訳にはいかない状況が出来てきました。

告知される場合も、されない場合でも、さまざまなケースがありますが、自分の病いを知り、家族に励まされ、励まし、残された自分の人生を生き抜く決心をした患者が増えて来ています。そのような患者に出会った関係者は例外はもちろんありますが、一様に感動し

協力をし始めたり、自分の人生観がすっかり変わったとおっしゃる方も沢山おられます。

私どもの会が、保健所、市役所訪問をさせて頂くのは、少しでも前向きに生きようとする患者を勇気づけて頂きたいし、口はばった言い方ですが、これまでの殻を破って患者さんに会を紹介して頂けるならば、幾分かでも患者家族の方々への支えになるのでは無いかと願っているからです。

今年は、北見、稚内、帯広、美唄と3ヶ所で交流会を致しました。稚内は残念ながらお医者様にお越し頂けなかったのですが、しかし、在宅で人工呼吸器を付けながら、市のサービス、病院のフォロー、ボランティアの組織化等で頑張っておられるAさんの関係者のお話で感動したり、勇気付けられたり、とても参考になりました。

この交流会は、患者家族、遺族、医師、行政、福祉、難病連支部等、立場の異なる方々が一同に会して、お互いの話が聞け、共通の理解に立つ事が出来ることが長所です。

御地では、残念ながら患者さんのお出でが無かったのですが、北見の患者さんが学生ボランティアさんと参加しましたので、患者の気持ちが幾分かでも分かって頂けたかと思えます。

終わった翌日、このような会合を待っていたが、「新聞で終わった事を知り、誠に残念」と新聞の連絡の電話番号を頼りにお電話を頂き、早速入会の手続きをした家族の方がいらっしゃいました。やはり待たれて居たのかという思いです。

しかし、地元の患者さんのお出でが無かったとはいえ、保健所さんなどへ訪問できた事、十勝の状況を知ることが出来た事はやはり収穫です。いつも現状から出発し、対応をして行かなければなりません。重ね重ね難病連十勝支部様のお力によるものと感謝申し上げます。難病連に集う各部会の皆様と力を合わせて頑張ります。皆様のますますのご発展を祈念いたします。

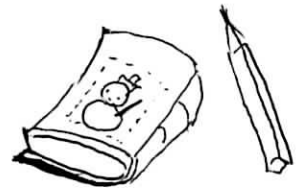
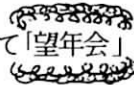


## 活動報告

- ①7月18日～十勝プラザで「患者会のない患者・家族交流会」が開催され、竹中美津子、田中弘子の2名が参加しました。
- ②8月7日～ホテルノースランドで運営委員会を開き、役員の補充と「第26回難病患者・障害者と家族の全道集会」の参加報告や近況交流会をしました。
- ③9月4日～お食事会で、俳句・川柳・短歌などの頭の体操をしました。
- ④10月14日～総合福祉センターで、津島民子先生を迎えて「絵手紙講習会」を行い、その後交流会を持ちました。

## 今後の予定

- ⑤12月11日～6時から北海道ホテルにて「望年会」をします。



\*会費5千円、申込み12月7日(田中(36-2705)、間野(33-3319)、加藤(33-6999)迄)  
\*取り消しは9日まで、それ以後の欠席については会費の負担をお願い致します

## お食事会言葉のリハビリ作品集 ～9月4日ホテルノースランドにて～

・晴天の 痛み忘れて 我れ九十五才  
・人生の戦い終わり 我れ老ゆ

庭に真白き 白菊の花



高田 喜三

<いつも背筋をピンとして肌もつやつや、みんなの心の支えです>

二人での合作～矢野恵子さんと田村美和子さんが五・七・五を分担して合わせたものです。

・お食事会 カレンダー見て 皆を思う  
・リュウマチの友 笑顔前って うれしいな  
<新得から一番に駆けつけてくれる田村さん、若々しくいつも参加してくれる矢野さんです>

・リュウマチ会 頭のリハビリ 楽しいな  
・北の大地(ノースランド)で



コーヒー飲めば 痛み忘れる

竹中美津子

<「カラオケで腰がすっとのびるようになりました。」と話し、難病のだんなさんの面倒もみている頑張り屋さんです>

・痛む身も エルヴィス見れば 頬ゆるむ  
<エルヴィス・プレスリーの事なら何でも知っています>

白木美代子

・久しぶり 病める仲間と 会食で

笑顔こぼれる ノースランドで

清都芳子

<会員外だけど お食事会に参加してくれました>

・地ビールを 一口飲んで 暑さ忘れる

・夕暮れに ポチに連れられ 散歩する

秩父法子

<自分の意見をはきはき言って場を盛り立ててくれます>

・天高く 何でも美味しい 秋日和

加藤登美子

<冬にシンガーボールに行って英気を養ってきました>

・孫生まれ 抱いてやれない もどかしさ

佐々木美智子

<趣味はカラオケでいっしょに声で歌います>

・御馬也走と 人の言葉に励まされ

昨日と変わる 私の中で

市村君代

<函館の全道大会に参加して頑張っています>

・痛む日は 皆の笑顔に会いたくて

遠き道のり 車走らせん

田村美和子

<絵手紙にはまっているようです>

猛烈な残暑のなかを みなさま大変ご苦労様でした。



## 初の後縦靭帯骨化症、医療講演会が広く十勝圏で開かれた！

平成 11 年 4 月 1 日より後縦靭帯骨化症友の会帯広支部長 坂口貫一氏は病氣辞任、新たに元事務局の吉澤一廣が支部長に就任、事務局には池端充氏が就任した。

平成 11 年 4 月 25 日、北海道後縦靭帯骨化症友の会、定期総会議案審議に出席した新支部長は本年度釧路支部結成の運びをうけて、帯広支部での医療講演会の企画を決意したものである。

早速準備にかかり、まずは杉山会長はじめ本部の支援を受けることとなり、又難連十勝支部長山崎富士夫氏から後援も頂き着手した。

先ず帯広保健所へ赴き、十勝全域の全患者へ開催要項の発送を公文書にて協力を依頼した、幸いに協力を得て全配布となった。

次は報道機関機関 2 社、北海道新聞、十勝毎日新聞へ記事依頼した、地元紙は開催前日にも掲載 2 度にわたり配慮して頂けた。

講演者である釧路労災病院の井須豊彦先生も快くうけて頂け視聴覚機材の綿密な打合せも済み、会場設営も遺漏無く終えて当日の開催を待った訳である！

さて幾人の参加者があるだろうか？もっとも気がかりな所であった。

会場はこちらのスタッフ込みで 40 人とし満席の態勢としたが？

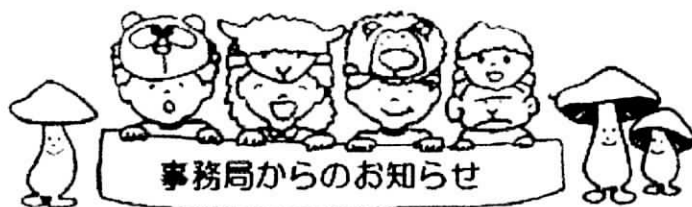
9 月 19 日（日）午後 1 時開催日～本部 3 名支部 1 名（大道さん）の受け付けでのぞむ、定刻までに車椅子の患者はじめ家族を含め 31 人の参加者を迎える事が出来た、ほぼ満席である、更に入会者が 11 名であった、現会員は 13 名であるから計 24 名の支部会員となったわけである！ 喜びをもって終えることが出来たことはご支援下さった各方面の皆様方のお蔭、ここに厚くお礼を申し上げる次第。

末筆で誠に失礼ながら講演者 井須豊彦先生はじめ、杉山清美会長、荒事務局長、三人の女性スタッフ、難連十勝支部長山崎富士夫氏、当支部の池端、大道、各氏に重ねて御礼を申し上げますとともに、今後とも一層のご協力をお願い致します、誠に有難う御座いました。

平成 11 年 10 月 16 日

文責 後縦靭帯骨化症友の会帯広支部長 吉澤一廣





## 会員の皆さんへ JPC署名・募金活動にご協力下さい

今年もJPC(日本患者・家族団体協議会)によります、国会請願署名・募金を開始いたします。

昨年度の請願署名は北海道において、4万8千人を超える署名を集めることが出来ました。

今年も多くの方々の賛同と署名を集め、私たちの求める豊かな医療と福祉の充実を一つでも前進させるため、皆様のご支援とご協力をお願いいたします。

また、募金は来年6月に予定される国会請願に北海道から代表団を派遣する資金となるほか、署名活動にに必要な費用や、JCPとJCP加盟団体の活動を進める貴重な資金として使わせて頂きます。どうか、皆様のご支援とご協力をお願い申し上げます。

### 記

- ◎実施期間                   \*平成11年10月～平成12年3月末日。
- ◎署名にあたって           \*署名には原則として印鑑を押してください  
お持ち合わせのない方は、サインでも結構です  
ご家族をご一緒に署名して下さる場合は「〃」「等」とせず、住所、氏名をきちんとお書き下さい
- ◎署名された用紙はお手数ですが各所属部会又は支部事務所までお届け下さい

## お正月飾り販売ご協力をお願い

ご近所、職場の方々には是非お声をかけて、ご注文を頂いてください。  
カタログは最後のページに記載してあります。  
販売価格は消費税込みの値段です。

- ★ご注文は、支部事務所に、注文して下さい。 電話:0155-23-6634番
- ★5,001円以上の注文は、直接注文者にお送りします。
- ★5,000円以下の注文は、支部事務所に取りに来てください。
- ★商品代金は支部事務所にお支払い下さい。
- ★注文締め切りは12月2日です。部会には還元金があります。

# '2000 正月飾り

新年を迎える気持ち大切にしたい。  
お早目に御準備下さい。

## ◆ 玄関用謹賀新年 ①～⑦



① 謹賀新年玉佩  
(H40×W18×W18) 1,200円



② 謹賀新年玉佩  
(H45×W23×W23) 1,700円



③ 謹賀新年玉佩  
(H55×W23) 2,500円



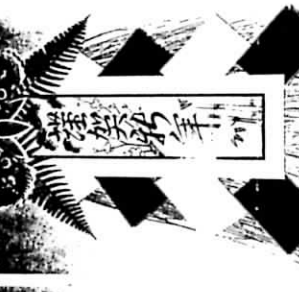
④ 謹賀新年玉佩  
(H70×W20) 3,500円



⑤ 謹賀新年玉佩  
(H80×W25) 5,000円



⑥ 謹賀新年玉佩  
(H85×W40) 7,000円



⑦ 謹賀新年玉佩  
(H90×W40) 10,000円



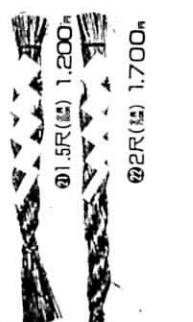
⑧ 謹賀新年玉佩  
(H45×W23) 3,000円



⑨ ミニ交通安全  
(H11×W10) 1,000円



⑩ 交通安全玉佩  
(H20×W20) 1,200円



⑪ 交通安全玉佩  
(H20×W20) 1,200円

## ◆ 神様用飾り



⑫ 3俵面玉佩  
(H18×W24) 1,500円



⑬ 5俵面玉佩  
(H18×W20) 2,200円



⑭ 5俵面玉佩  
(H16×W20) 2,500円



⑮ 7俵面玉佩  
(H23×W38) 3,000円



⑯ 2俵面玉佩  
(H17×W45) 5,000円

◎ コボーン飾り (H16×W50) 2,500円

※ 表示方法は平均法です。(飾りの作りにより飾り数、立派に多少の違いがあります。)  
※ 表示方法は高さ×幅(横)は平均法です。



⑰ 三松竹梅  
1,900円



⑱ 交通安全  
350円



⑲ 交通安全  
300円



⑳ 交通安全  
1,700円



㉑ 交通安全  
350円



㉒ 交通安全  
100円



北海道難病連は、30の患者・家族団体と23の地域支部で構成されています。ご協力いただいた取組は、相談事業や検査指導のためパンフレット、機関誌発行、医療講演会などの活動に使われます。

**財団法人 北海道難病連**  
 ◎ 064-8506 札幌市中央区南4条西10丁目 北海道難病センター  
 TEL (011) 512-3233 月～金 10:00～18:00 (土曜・日曜・祝日休み)  
 FAX (011) 512-4807

〔ご芳志ありがとうございます〕

## 1 音更ライオンズクラブ様より

7月14日 十勝毎日新聞社様をとおして、音更ライオンズクラブ様より、難病連十勝支部に、金112,000円をいただきました。有り難うございました。

支部の活動のために、有意義に使わせていただくようにしたいと思います。

## 2 リサイクル・バザー用品

次の方々から、バザー用品を寄贈していただきました。先日の勤医協のバザー及び11月14日のバザーに、活用させていただきます。

帯広市	おおが塗装店	様	帯広市	堀内	様	帯広市	斉藤	様
帯広市	下鳥	様	帯広市	匿名	様	帯広市	宮田	様
帯広市	島田	様	帯広市	荒井	様	帯広市	遠藤	様
帯広市	柴田	様	帯広市	帯広高看	様	帯広市	島田	様
帯広市	高津	様	帯広市	堤	様	帯広市	小畑	様
帯広市	桜田	様	帯広市	本間	様	帯広市	印銀	様
帯広市	桜庭	様	帯広市	小田切	様	帯広市	遠藤	様
帯広市	三浦	様	帯広市	棚原	様	帯広市	水内	様
帯広市	保坂	様	帯広市	原	様	帯広市	木村	様
帯広市	今泉	様	帯広市	及川	様	帯広市	棚瀬	様
帯広市	藤井	様	帯広市	赤間	様	帯広市	家内	様
帯広市	成田	様	帯広市	敦賀	様	帯広市	国本	様
帯広市	野中	様	帯広市	渡辺	様	帯広市	牧野	様
帯広市	土谷	様	帯広市	佐藤	様	帯広市	佐藤	様
帯広市	伊藤	様	帯広市	大沢	様	帯広市	林	様
帯広市	中原	様	帯広市	加藤	様	帯広市	大西	様

7月9日から10月30日までの間に、以上48名の方々から、バザー用品をいただきました。有り難うございました。



タイトル(愛)  
肢体不自由児作品

カニ  
森 尋子

あし、

チャリティー  
募金  
300円

# ふれあい広場'99

■と き/平成11年**11月14日**(日) 午前10時～午後2時

■ところ/**帯広市総合福祉センター**

(グリーンプラザ) 公園東町3丁目  
☎27-2325

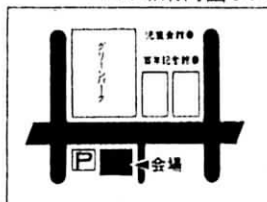
■主 催/十勝肢体不自由児(者)連合父母の会

■共 催/十勝愛育園ひばり寮の会・個別肢体不自由児者父母の会  
●池田肢体不自由児者父母の会・帯広肢体不自由児者ごまどり父母の会  
●富更肢体不自由児者父母の会

■参加団体

●すずらん学級・親の会 ●帯広グルッポ手話の会 ●難病連十勝支部 ●富更リハビリチー  
ション「レモンクラブ」 ●基別小規模療育施設「ひまわりの家」 ●愛育学園 ●肢体不自由  
児者生活訓練施設「はてとハウス」 ●池田父母の会 ●帯広ケア・センター「まどろの木共同  
作業所」 ●はなさえ ●あやめ共同作業所 ●たまりは会 ●あいあいの仲間 ●はまなす  
共同作業所 ●帯広ろう会協会種人館

●●●会場案内図●●●



「障害者の日」関連行事 として例年12月に行っていました

「ふれあい広場」が今年は 11月14日に開催されます。

難病連十勝支部も参加します。今回は「リサイクルバザー」をします。介護用品の  
展示は、難病連としては行いません。

いろいろな催しがありますので、総合福祉センターへおでかけ下さい。ご案内申し  
上げます。

# 北海道難病連団体一覽

1999.7現在

団体名	代表者	事務局	電話
あすなろ会(個人参加難病患者の会)	成田 愛子	札幌市中央区南4条西10丁目難病センター内	512-3233
乾 癖の会	築田 剛	札幌市豊平区	
再生不良性貧血患者と家族の会	野村 幸子	札幌市東区	
全国筋無力症友の会北海道支部	猪口 英武	札幌市中央区南4条西10丁目難病センター内	512-3233
全国膠原病友の会北海道支部	埋田 晴子	札幌市中央区南4条西10丁目難病センター内	512-3233
全国心臓病の子供を守る会北海道支部	小田 隆	札幌市中央区南4条西10丁目難病センター内	512-3233
全国パーキンソン病友の会北海道支部	山根 義樹	札幌市中央区南4条西10丁目難病センター内	512-0014
胆道閉鎖症の子供を守る会北海道支部	鈴木 英雄	札幌市豊平区	
日本オストミー協会札幌支部	金田 正	札幌市豊平区	
日本てんかん協会(波の会)北海道支部	近藤 彰孝	札幌市中央区南4条西10丁目難病センター内	512-3233
日本二分脊椎症協会北海道支部	富樫 伸行	札幌市清田区	
日本リウマチ友の会北海道支部	二反田道子	札幌市中央区北8条西15丁目	
ブラタナスの会(ブラダ・ウィリ症候群親の会)	山崎のり子	札幌市東区	
北海道ALS(筋萎縮性側索硬化症)友の会	吉田 雅志	札幌市中央区南4条西10丁目難病センター内	512-3233
北海道潰瘍性大腸炎・クローン病友の会	萩原 英司	札幌市中央区南4条西10丁目難病センター内	512-3233
北海道肝炎友の会	竹田美知枝	札幌市中央区南5条西9丁目	
シジストロフィー部会		札幌市中央区南4条西10丁目難病センター内	512-3233
北海道後縦靭帯骨化症友の会	杉山 清美	札幌市中央区南4条西10丁目難病センター内	512-3233
北海道小鳩会(ダウン症候群父母の会)	三好 明子	札幌市南区	
北海道腎臓病患者連絡協議会	岩崎 薫	札幌市北区	
北海道脊髄脳変性症友の会	後藤 澄夫	札幌市中央区南4条西10丁目難病センター内	512-3233
北海道側彎症児を守る会	上野 武	札幌市南区	
北海道多発性硬化症友の会	田中 士郎	札幌市中央区南4条西10丁目難病センター内	512-3233
北海道低肺の会	福居 文悦	札幌市豊平区	
北海道橋本病友の会	萩野 邦男	札幌市中央区南4条西10丁目難病センター内	512-3233
北海道パーチャー病友の会	根尾 義雄	札幌市中央区南4条西10丁目難病センター内	512-3233
北海道ヘモフィリア(血友病)友の会	大田 純	札幌市中央区南4条西10丁目難病センター内	512-3233
北海道ベーチェット病友の会	高野喜久治	札幌市中央区南4条西10丁目難病センター内	512-3233
未熟児網膜症から子供を守る会北海道支部	茂呂 誠	札幌市豊平区	
もやもや病の患者と家族の会北海道ブロック	後藤 篤子	札幌市手稲区	

## 〈地域支部組織一覽〉

支部名	支部長	事務局長	事務局	電話
稚内支部	菊 清	横山 考	稚内市	
南宗谷支部	田中マサエ	野口 良子	枝幸郡枝幸町	
旭川支部	恩田 武美	工藤 フサ	旭川市9条通7丁目左2号 「かがやき旭川」	0166-24-7690
美瑛支部	伊藤 彰		上川郡美瑛町	
根室支部	斉藤 淳一	加藤 慎子	北見市	
中標津支部	木村 猛雄	岡田 昌治	根室市昭和町	
標茶・弟子屈支部	河股 清太		標津郡中標津町	
厚岸・浜中支部	阿部 正直	中嶋 幸子	川上郡標茶町	
釧路支部	田宮 滋子	山田 澄子	厚岸郡厚岸町	
阿寒支部	佐藤 信洋	渡部小夜子	釧路市松浦町9-20 「さわやか釧路」	0154-24-2012
白糠・音別支部	炭野 信好		阿寒郡阿寒町16線29 社会福祉協議会内	0154-66-2121
十勝支部	二瓶 賢二	上田 弘	白糠郡白糠町	
美瑛支部	山崎富士夫	成田 愛子	帯広市西5条南13丁目19-2 「ふれあい帯広」	0155-23-6602
美瑛支部	菅原 貞助	穀内さかえ	河東郡音更町	
静内支部	桑折 長治	花井 敏男	美瑛市	
早来支部	遠下 光男	山口 勉	静内町	01464-2-7079
白老支部	藤原 利夫	藤原サチ子	勇払郡早来町	
室蘭支部	畑瀬 幸雄	宮田 治	白老郡白老町	
函館支部	十河 勝彦	永末 秀子	室蘭市東町2丁目1-19 市障害者福祉センター警友会内	0143-45-6849
戸井支部	佐藤 秀臣	三品奈奈子	函館市大縄町9の22 「ラブリーはこだて」	0138-26-7570
南檜山支部	菊崎 嗣	吉田敬一郎	亀田郡戸井町	
札幌支部	田畑 和子	門脇るみ子	桧山郡江差町	
岩見沢支部準備会	伊藤たてお	佐々木秀利	札幌市中央区南4条西10丁目 難病センター内	011-512-3233
		村田 信二	岩見沢市南町	

# がんばれ 難病患者

## 日本一周激励マラソン



98年登別の全道集會  
に到着した日本一周  
ランナーの澤本和雄  
さん..

- 7月25日(日) 宗谷岬スタート
- 8月1日(日) 全道集會会場  
(札幌)からスタート
- 11月26日(金) 東京で大集會
- 11月29日(月) 札幌到着予定



- スローク
- 全ての難病・長期慢性疾患の医療費を無料に!!
  - 難病患者・障害者・高齢者が暮らせる年金の給付を!!
  - 公的介護保険制度の確立を!!
  - 総合的な難病対策の早期確立を!!
  - 医療被害・薬害の根絶と国家賠償(補償)制度の確立を!!
  - 全国都道府県に難病センターの建設を!!東京に全国患者会館の建設を!!

ホームページを開設しました  
<http://www.tokeidai.co.jp/h-nanren>

HSKなんれんとからNO30

編集人 財団法人北海道難病連十勝支部 山崎富士夫 昭和48年1月13日第三郵便物認可  
 「ふれあい帯広」 ☎ 0155-23-6602 F A X 23-7071 1999年11月10日発行 HSK通巻第331号  
 帯広市西5条南13丁目19-2 月一金10時~17時  
 発行人 北海道身体障害者団体定期刊行物協会 細川 久美子